



辻の城団地が行政区となった時の初代区長の森川将明さん(右)と妻の栄子さん

の初代区長が森川将明さん(85)です。「私たちがここに来た頃は更地ばかりで、4、5軒ほど家が建っていただけ。知らん人ばかりだったばってん、互いに支え合いながら交流を深めて、地区の輪をつくりあげてきました」と将明さんは振り返ります。将明さんは40歳で脱サラして牛乳店を始めた頃、ここに越して来ましたが、「自営業は定年がなかったけんずつと働けると思つたばってん、同級生と一緒に60歳で引退しました」と笑う将明さんは引退の数年前、町の人に変な世話になっていたことへの感謝から「自分にできることがあれば」と、初代区長を引き受けたことを話してくれました。



妻の栄子さん(81)は地区の老人会長を務めており、サロンや地域のお年寄りを訪ねて声掛けをするなど積極的な活動を行っています。「顔が見える、声が聞こえるというように、地域の絆の温かさを感じる場所です」と栄子さんがほほえみます。現在、辻の城団地には約500軒の民家が建ち並んでいます



「これからビーチボールバレーです」と元気に手を振ってくれた内山タエ子さん

**元気いっぱい 若さいっぱい**  
毎週、月・水・金の早朝、辻の城地区にあるグリーンパークでは、老人クラブの皆さんがグラウンドゴルフを楽しむ姿が見られます。「二年中、みんなで体を動かしながら楽しんでます」と皆さんは口々に言います。しかし、勝負どころとなると顔つきは真剣。そんなめりはりのある日々を送ることが、元気の秘訣のようです。「これからビーチボールバレーを楽しんできます」とユニフォーム姿で張り切っているのが内山タエ子さん(86)です。「70歳から始めて16年目。若い人から元気をもらってます」とチャーミングな笑顔を見せて、元気に練習場に向かいました。

散歩の終わりに



散歩の途中で出合ったコーギーのクロッキー君

第4保育所の近くでクロッキキー君(14・コーギー)に出会いました。アスファルトの温度も気持ちよく、犬たちの散歩も快適な季節ですね。空を見上げると、いろんな形の秋の雲にも出合います。いわし雲、さば雲、うろこ雲、ひつじ雲。これらの雲の違いがわかりますか？ 実はどれも同じ。巻積雲や高積雲の俗称で、明確に形を区別する定義はないそうです。いずれも秋の季語です。この日の出会いに感謝。

